

第七十四回
帝國議會
貴族院

朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會會議事速記錄第二號

昭和十四年二月二十三日(木曜日)午前十時三十分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致シマス、是ヨリ質問ニ入りタイト思ヒマスガ、御諮リ致シマスガ、三案ハ皆關聯致シテ居リマスカラ、質問ガ恐ラク三案ニ關係致シテ出ルト思ヒマスノデ、便宜上一括シテ議題トシタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイト存ジマス、左様致シマス

○子爵秋元春朝君 前會ノ委員會ノ時ニ大體ノ御説明ハ承ツタノデスガ、尙モウ少シ細カク御説明ヲ願ツタラ、餘程審議ノ上ニ便宜ヂヤナイカト思フノデアリマスガ、此ノ私設鐵道補助法改正法案之ヲ拜見シテ見マスルト、四ツノ主ナ點ガ改正サレルヤウニ考ヘルノデアリマス、期限ノ延長、補助率ノ變更、補助金ノ限度ノ撤廢、實施ノ時期ト云フヤウナ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テモウ少シ平タク、御説明ヲ願ヒタイト思フ、ソレガ一ツト、ソレカラモウ一ツ、事業公債法ノ改正、之ニ付キマシ

テモ矢張り説明ヲ承ツタノデアリマスガ、私ガチヨット計算スルト、數字ガ少シ喰違ッテ居ッテ、千五百圓ノモノガドウナッテ居ルノカ分ラヌコトニナルノデスガ、無論參考書ヲ皆頂戴シテ居リマスノデ、之ヲザット拜見シタノデスガ、此ノ喰違ヒノ所ノ内容ニ付テ詳シイ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此ノ二點ダケ取敢ヘズ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 最初ニ御質問ノ中デ、事業公債法中改正法律案ノ計數ノコトニ付キマシテ、御説明申上ゲタイト存ジマス、御質問ノ要點ハ、今度ノ改正ニ於キマシテ、公債發行法定現在額ハ億九千三百五十萬圓デアリマス、ソレニ對シマシテ、一億七千二百六十萬圓ヲ追加シテ、總額ヲ十億六千六百十萬圓ニ改メタル、詰リ一億七千二百六十萬圓ノ増加ニ付テ御審議、御協賛ヲ御願ヒスルト云フコトニ相成ッテ居リマス、然ルニ昭和十四年度以降四箇年間ノ鐵道建設改良ニ要スル總額ハ、一億八千七百六十萬餘圓ト云フコトニ相成ッテ居ル、將來必要トスル額ガ一億八千七百六十萬餘圓アルナラバ、今回改正スル追加額モ一億

八千七百六十萬餘圓デナケレバナラヌヤウニ一應思ハレル、ソレガ其ノ額ニ達シテ居ラナイ、此ノ計數上ノ經緯ハ何處カラ來ルノデアルカト云フ御質疑ノヤウニ拜承致シマシタ、ソレニ關シマシテハ、九頁ニ……參考書トシテ御手許ニ差出シテ置キマシタ、朝鮮事業公債法中改正法律案參考書ト云フノガゴザイマス、ソレノ九頁ニ計數ノ經緯ヲ掲ゲテ置イタノデアリマシテ、ソレニ依リマスルト、第一昭和十三年度迄ノ公債發行豫定額、此ノ内十三年度ハマダ發行致シテ居リマセヌガ、近々發行ノ豫定デゴザイマス、十三年度迄ノ發行豫定額ハ六億四千五百二十一萬餘圓ニ相成ッテ居リマス、次ニ昭和十四年度以降公債支辨事業ノ既定額、是ハ既ニ前回迄ノ議會ノ御協賛ニ依リマシテ、鐵道建設改良等ノ仕事ノ爲ニ將來二億三千七百八萬餘圓ト云フモノハ公債ヲ發行シテモ宜シイト云フ權限ヲ與ヘラレテ居ルモノデアリマス、ソレニ今回新ラシク追加ト致シマシテ昭和十四年度以降四箇年間ノ繼續費トシテ一億八千七百六十萬餘圓、之ガ一、二、三、四、ノ四デアリマス、此ノ一ト二ト四、此ノ三ツヲ加ヘマシ

タモノガ今回ノ追加モ合セマシテ將來公債ノ發行ヲ必要トスル額ナノデアリマス、其ノ内デ昭和十四年度ニ公債支辨事業トシテ既ニ御協賛ヲ經テ居ルモノノ内三百九十萬圓ダケハ成ルベク斯ウ云フ時局柄公債ヲ一圓デモ少クシヨウト云フ趣旨デ、一般財源ニ振替ヘルコトヲ昭和十四年度ニ計畫シテ居リマス、從ッテ其ノ分ダケハ公債發行ノ權限ハ得テ居リマスケレドモ、之ヲ一般財源デ差引ク必要ガアリマス、從テ一ト二ト四ノ合計額カラ公債ヲ必要トシナイ分ノ三ノ普通財源支辨ニ振替、之ヲ差引シマシタ合計額ガ五番目ノ以上四口差引合計十億六千六百萬餘圓ト云フコトニ相成ルノデアリマス、詰リ十億六千六百餘萬圓ノ公債ノ發行ヲ、過去現在將來ヲ通ジテ致シマスレバ、今回ノ追加ノ計畫モ全部合セタ仕事ガ出來ルト云フ譯ナノデアリマス、然ルニ現在ノ法定額ハ八億九千三百五十萬圓既ニアリマスカラ、此ノ十億六千六百餘萬圓カラ現在ノ法定額ヲ差引致シマスルト、一億七千二百五十萬九百八十七圓餘ト云フコトニ相成ルノデアリマス、之ヲ計算ノ便宜上從來ノ慣例ハ矢張り十萬圓單位デ切上ゲルト云フ

コトニ相成ッテ居ルノデアリマス、從ッテ十萬圓單位デ切上ゲマスカラ、一億七千二百六十萬圓ヲ此ノ際追加ヲ致スト云フコトニ御協賛ヲ得マスルナラバ、昭和十四年度以降ノ新ラシキ鐵道ノ計畫ハ、ソレデ以テ完了スルコトガ出來ルト云フ計算ニナルノデアリマスルガ、之ヲモウ少シ深ク掘下ゲテ御説明申上ゲマスルト、兎モ角一億八千七百六十萬圓ノ仕事ヲスルノ一億七千二百六十萬圓デ宜イ、約千五百萬圓程其處ニ餘リガ出來テ來テ居ル、其ノ餘リハ一體ドウ云フ關係デ、從來ノ公債發行額ノ中デドウ云フ關係デ出來タカト云フコトニ歸著スルノデアリマス、第一ハ此ノ説明ノ九頁ノ三ノ公債發行ヲ豫定シテ居ッタノヲ、普通財源支辨ガ此ノ三百九十萬圓、ソレデ公債ガ餘ッテ參リマス、ソレカラ昭和十二年度ニ於キマシテ、矢張り公債發行トシテ權限ヲ得テ居リマシタ金額ノ中デ、四百八十五萬圓ダケハ財政ノ狀況宜シウゴザイマシタ關係上、公債發行ヲ見合シテ一般財源デ賄ッタノガ四百八十五萬圓昭和十二年度ニアリマスルガ、ソレニ加ヘマシテ昭和十三年度ニ於キマシテ、物資ノ關係上餘儀ナク繰延ヲ致シタノガ六百三十三萬圓程アリマス、繰延ヲ致シタ關係上自然ソレニ對應スル公債ハ不必要

ニナルト云フコトニ相成ルノデアリマス、此ノ十二年度公債デヤラナケレバナラスノヲ普通財源ニ振替ヘテヤッタノガ四百八十五萬圓十三年度事業ノ繰延ヲ致シタソレニ對スル公債ノ不用額ガ六千六百三十三萬餘圓、ソレカラ十四年度公債デヤルノヲ普通財源ニ振替ヘテヤッタノト此ノ三口ヲ合セマシタノガ千五百萬圓餘ニナルノデアリマス、斯ウ云フ關係デ以テ一億八千七百六十萬圓ノ仕事ヲシマスノニ對シテ、千五百萬圓ダケ公債ヲ減ラシテ一億七千二百六十萬圓ダケ公債ヲ追加シテ戴ケバ仕事ガ出來ルト云フ計數ニ相成ルノデアリマス、御了承ヲ願ヒマス、次ニ私設鐵道補助法中改正法律案、只今御質疑ノ通り改正ノ要點ハ凡ソ四點ニ分ケルコトガ出來ルノデアリマス、朝鮮ニ於キマシテ現在總督府カラ補助ヲ受ケツ、アリマスル私設鐵道ハ、ズット從來カラ受ケテ居リマスルノハ五社アルノデアリマシテ、朝鮮鐵道株式會社、金剛山電氣鐵道株式會社、朝鮮京東鐵道、朝鮮京南鐵道、尙一ツハ新興鐵道株式會社、以前カラ補助ヲ繼續サレテ居リマスルノハ此ノ五社デアリマスルガ、其ノ中京東鐵道ヲ除イタ四社ニ付キマシテハ、昭和十四年ノ今年ノ暮ノ十二月、十二月乃至來年ノ二月ニ補助ノ期限ガ終了

致スノデアリマシテ、併シナガラ是等ノ私設鐵道會社ノ營業成績ハ最近幾ラカ良クハナッテ參ッテ居リマスケレドモ、尙獨自ノ力ヲ以テ適當ト認メラレル配當ヲスル迄ニハ立至ッテ居ラナイノデアリマシテ、新興鐵道ナドニ至リマシテハ、最近ハ配當ヲシナイ、一番成績ノ良イ朝鮮鐵道ニシマシテモ凡ソ三分四厘、最近ノ狀況デ三分四厘位ノ利益率トナッテ、七分、八分配當スル迄ニハ立至ッテ居ラナイノデアリマス、從ヒマシテ是等ノ鐵道ハ當初建設セシメタ趣旨ニ鑑ミマシテ、尙此ノ際相當期間ヲ延長スル必要ガアルト云フノデ、既ニ基本ノ補助期間十五箇年ガ過ギマシテ、今年ノ末迄ニ更ニ五箇年延長シマシタノデアリマスケレドモ、今回更ニモウ五年延長ヲ致シマシテ、前ノ延長ト合計シテ十年間ノ延長、今度新ラシク延長ハ五箇年ト云フコトニ御協賛ヲ御願ヒ致シタイト云フノガ改正ノ第一點デアリマス、改正ノ第二點ハ補助保證率ノ改正デアリマス、此ノ前ノ補助期限ヲ、基本ノ補助十五箇年カラ更ニ五箇年延長致シマスル、此ノ前ノ議會ニ於キマシテハ五箇年延長ノ恩典ト申シマスカ、五箇年延長サレル在來ノ私設鐵道以外ノモノダケヲ見マスト、新ラシク設立スル私設鐵道ニ對シマシテハ六分ノ配

當ヲ保證スルダケノ補助金ヲ支給スル、ソレニ對シマシテ利益ノ保留ヲ一分ダケ認メル、一分ノ範圍ニ於テハ、補助金ヲヤル場合ニ補助金ヲ控除セズニ、マル、支給スル、一分以上ノ利益ノアル場合ニハ其ノ以上ノ分ダケヲ控除シテ補助金ヲ支給スル、詰リ基本ノ補助ハ六分、益金ノ保留率ヲ認メルノハ一分ト云フコトニ相成ッテ居ッタノデアリマシテ、而シテ是ハ新ラシイ會社ニ對スル補助率デアリマシテ、五箇年間ノ延長ヲ認メラレル會社ニ對シマシテハ、基本ノ保證率ヲ六分ヨリ一分下ゲマシテ五分ト云フコトニ致シマシタ、而シテ利益ノ保留率ヲ一分五厘ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、詰リ六分ト一分、ソレカラ五分ト一分五厘ト云フモノガ現在ノ法規デ認メラレテ居ル補助ノ保證關係デアリマス、ソレヲ今回ハ新設ノ補助私設鐵道ノ會社ニ對シマシテハ、當時ト今日トノ金利ノ趨勢ナドカラ鑑ミマシテ六分ヲ此ノ際五分ニスルノガ適當デアルト云フ風ニ認メマシテ、補助率ヲ五分ニシマシテ、益金ノ保留ハ從來通り之ヲ一分トスルト云フコトニシタノデアリマス、五箇年間更ニ延長シマスル私設鐵道ノ會社ニシマシテモ、矢張り之トノ權衡上此ノ際五分ト一

分ニスルト云フコトニ改正ヲ致スコトニシテ
居ルノデアリマシテ、是ハ内地ノ私設鐵道
ノ補助ガ四分一本ト云フコトニ相成ッテ居
リマス關係モ考慮致シマシテ、内地ト朝鮮
トノ金利ノ狀況ナドカラ考慮シマシテ、一
分朝鮮ノ方ヲ高ク致シマシテ、五分一本ニ
スルト云フコトニ致シタノデアリマス、第
三ノ改正ノ主ナル點ハ、補助金ノ年總額最
高限度五百萬圓ト云フコトニ現在ハ相成ッ
テ居ルノデアリマス、補助法ノ第五條ニ規
定サレテ居ルノデアリマス、「補助金ノ年總
額ハ最高五百萬圓トス」ト云フコトニ相成ッ
テ居リマス、併シナガラ一方ニ於キマシテ
矢張り私設鐵道ニ對スル補助金ハ毎年總督
府ト大藏省ノ方ト折衝致シマシテ、其ノ年
ニ必要ト認メラレル補助金ヲ豫算ニ組ンデ
居ルノデアリマス、其ノ年々補助ノ豫算額
ハ査定致シマシテ豫算ニ計上シマシテ、議
會ノ御協賛ヲ經ルノデアリマス、昭和十四
年度ノ豫算ニ於キマシテハ四百十萬圓ノ補
助金ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、斯ウ
云フヤウニ、一方最高限度ガ規定サレテ居
リマシテ、議會ニ對スル政府ノ豫算計上額
ハ是デ拘束サレテ居ルノデアリマス、同時
ニ他面又豫算ノ方面ニ於テ其ノ年々必要ト
スルモノヲ計上シテ、帝國議會ノ御協賛ヲ

仰グ、此ノマア二重ノ監督ト申シマスカ、
制約ト申シマスカト云フコトニ相成ッテ居
ルノデアリマス、近キ將來ノ朝鮮ニ於ケル
私設鐵道ノ狀況ニ鑑ミマシテ、到底此ノ五
百萬圓デハ賄ヒ切レナイト云フ見込ナノデ
アリマス、或ハ六百萬圓、或ハ七百萬圓ト
云フヤウナ狀況ニ立至ルコトガ想像サレル
ノデアリマシテ、此ノ最高限度ガアリマス
ル其ノ度ニ最高限度ノ改正ト云フコトヲ
致サナケレバナラヌ關係ニモ相成ッテ居ル
ノデアリマス、ソレヨリモ寧ろ是ハ矢張り
内地ノ補助ノ法ニ於キマシテモ現在最高限
ノ規定ハ撤廢サレテ居ルノデアリマス、ソ
レニ倣ヒマシテ將來更ニ五百萬圓以上必要
トスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ豫
算ノ方面ニ於キマシテ帝國議會ノ御協賛ヲ
其ノ方面カラ制約ヲシテ行クト云フコトデ
足リルノデハナイカト、サウスル方ガ手
數ノ上カラ宜イノデハナイカ、所謂内地デ
オヤリニナッテ居ル方法ニ顧ミマシテモ、其
ノ方ガ宜イデハナイカト云フコトデ此ノ際
最高限度ノ條規ヲ撤廢致シマシテ、第一條
ノ方ニ豫算ノ範圍内ニ於テ私設鐵道ニ對
シテ補助ヲ致ス、毎年豫算デ以テ帝國議會
ノ御協賛ヲ經テソレニ從ッテ政府トシテ補助
金ヲ支給シテ行クトガ實狀ニ副フデハナ

イカト云フ意味ニ於キマシテ、第五條ノ最
高限度ヲ削除致シマシテ、第一條ニ「豫算ノ
範圍内ニ於テ」ト云フコトニ致シタ次第デア
リマス、改正ノ第四ハ改正法適用ノ時期、
附則ニ掲ゲテ居リマス時期ニ付テデアリマ
ス、現在補助ヲ受ケツ、アリマス私設鐵
道ニ對シマシテハ、其ノ補助ノ指令ニ付シ
タ現在ニ於ケル補助期間ノ満了ノ日ノ屬ス
ル營業年度ノ末日迄ハ矢張り改正規定ニ拘
ラス現行法ノ扱ヒ方ニ依ッテ補助ヲ致シマシ
テ、其ノ營業年度ノ月カラ改正法ヲ適用ス
ルコトニ致シタイト云フコトデ其ノ意味ノ
コトヲ附則ニ掲ゲテ居ルノデアリマス、現
行法ニ依リマシテ、現在補助ヲ受ケツ、ア
リマス鐵道ニ對シテ直チニ改正法ヲ適用
スルト云フコトトシマスナラバ事業者ニ對
シマシテ實際上ノ問題トシテ聊カ妥當ヲ缺
ク嫌モアリマスルシ、尙ホ計算上ノ便宜
ヲモ考慮致シマシテ、從前ノ改正ノ時モイ
ツモ斯ウ云フヤリ方ヲ致シテ居ル關係モ參
酌致シマシテ、前例ニ倣ヒマシテ、前述ノ
通りノ取扱ヲスルコトニ致シタ次第デアリ
マス、御質問ノ補助法ニ對スル改正ノ要點
ヲ大體御説明申上ゲマシタ次第デアリマス
○子爵秋元春朝君 私ノ質問ハ此ノ程度デ、
又此ノ次ニ伺ヒマス

○男爵久保田敬一君 私モ少々説明ヲシテ
戴キタイト云フ程度デ伺ヒタイノデスガ、
朝鮮事業公債支辨ノ事業費額調ト云フモノ
ガココヘ拜見シテアリマスガ、之ニ依リマ
スルト、昭和十二年度迄發行濟ノ公債ガ書
イテアリマス、ソレニ其ノ色々ノ項目ガ
載ッテ居リマス、ソレカラ十三年度ノ發行見
込額、ソレカラ十四年度以降ノモノガ書イ
テゴザイマスガ、是等ノ公債支辨ノ事業ニ
對スル極ク大體デ宜イノデゴザイマスガ、
事業其ノモノノ極ク大體ノ説明ヲ伺ヘレバ
結構デアリマス
○政府委員(水田直昌君) 此ノ前ノ委員會
ニ於テ御要求ニ相成リマシタ朝鮮事業公債
法ノ法定額ノ中デ、如何ナル過去ニ於テ仕
事ヲシテ居ルカト云フ御要求ガアリマシテ、
ソレニ基キマシテ參考書ヲ差出シタ次第デ
ゴザイマス、昭和十二年度迄ニ發行濟ノ額ガ
五億四千五百五十五萬餘圓、御手許ニ差出
シマシタ事業費額調ト云フノガアリマス、是
ハ別ノ方ニ對スル必要上掲ヘマシタノデ、ソ
レヲ利用シマシタ關係上、墨デ消シタリナドシ
テアリマシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、十二年度迄
ノ發行濟額ガ五億四千五百五十五萬餘圓、
十三年度ノ見込ガ九千九百六十六萬餘圓、
合計致シマシテ十三年度迄ノガ六億四千五百

二十一萬圓、是ガ事業公債法ノ參考書ノ先
程御説明申上ゲマシタニ相當スルノデア
リマス、ソレニ更ニ十四年度以降議會ノ御
協賛ヲ經テ居リマスノガ二億三千七百八萬
餘圓ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマ
ス、此ノ朝鮮ニ於ケル公債支辨事業トシテ
如何ナルモノヲ其ノ目的トシテ居ルカ、是
ハ日韓合邦當初ニ於キマシテハ、財源ノ關
係上此處ニモ書イテアリマス通り、醫院ノ
新營デアリマス、其ノ他直接生産事業
ト目サレ得ナイモノニ對シマシテモ、財政
ノ必要上公債支辨ト致シテ居ッタノデアリ
マス、然ルニ大正十二年迄ハ大體サウ云フ
モノモ公債支辨スルコトハ已ムヲ得ナイ
ガラウト云フコトニ相成ッテ居リマシテ、隨
分各種ノ事業ヲ公債支辨ニ致シテ居リマス、
此處ニ書イテ置キマシタヤウニ、大正十三
年以降ハ原則トシテ公債政策ノ關係上、中
央ニ於キマシテ、朝鮮ニ對シテハ鐵道建設
及ビ改良費ニ付テ公債支辨トシヨウ、大正
十三年以降其ノ方針ヲ採ラレテ來テ居ッ
タノデアリマス、昭和七八年アノ財界不
況ノ時ニナリマシテ、政府ノ財政モ非常ニ
苦シクナッテ參リマシタ際ニ更ニ公債支辨
事業トシテ、若干擴張致シマシテ、鐵道建
設改良ノミナラズ、其ノ他二三ノ生産的事

業ニ對シ、尙時局ノ關係上、特ニ必要トス
ル事業ニ對シテハ公債支辨トシテ之ヲ認メ
ヨウト云フコトニ中央ノ方ト意見ガ一致致
シマシテ、ソレ以來、例ヘバ土地改良ノ助
成ノ事業デアリマス、北鮮開拓ノ事業
ト云フヤウナモノ、又最近デハ金山送電施
設、港灣ト云フヤウナモノモ公債支辨事業
トシテ行フト云フコトニ相成ッテ居ルノデ
アリマス、而シテ現在ハ昭和十四年度ニ於
キマシテハ先程御説明申上ゲマシタ三百九
十萬圓ヲ一般財源ニ振替ヘル、アレハ實ハ
港灣ニ對スル公債デアリマスガ、昭和十四
年度ニ於キマシテハ、之ヲ一般財源トシテ
居リマス關係上、鐵道建設改良ト金山送電
線、此ノ二ツノ事業ガ昭和十四年度ニ於ケ
ル公債支辨事業ト相成ッテ居リマス、昭和十
五年以降ニ於キマシテハ、鐵道建設ト金山
ノ送電ト港灣ノ極ク一部ニ對シテ公債ヲ以
テ支辨スルト云フコトニ相成ッテ居ルノデ
アリマス

○男爵久保田敬一君 十四年度以降ノ鐵道
建設及改良、ソレカラ港灣ニ千四百萬圓、
ソレカラ金山送電施設トゴザイマスガ、此
ノ事業ノ概要ヲ承リタイト思ヒマス
○政府委員(工務局長) 昭和十四年度以
降ノ公債費支辨ノ鐵道建設改良工事ノ大要
ヲ申上ゲマス、先ヅ中央線ハ十三年度迄
ニ南ノ方ハ永川ト云フ所カラ友保ト云フ所
迄、南ノ方一部分ハ昨年末ニ開業致シマシ
タ、北ノ方ハ京城カラ楊平ト云フ所迄來月
開通スルコトニナッテ居リマス、從ッ
テ昭和十四年度以降ノ公債費ヲ財源ト致
シマスル工事ハ友保カラ楊平迄ノ間ニナル
ノデゴザイマス、昭和十四年度ニ於キマシ
テハ楊平カラ原州迄凡ソ五十「キロ」バカ
リ、ソレカラ南ノ方ハ友保カラ豐基迄チヨッ
ト百「キロ」バカリ、残りノ百十「キロ」バカ
リガ昭和十五年年度ノ開通ト斯ウ云フコトニ
ナリマス豫定デゴザイマス、ソレカラ東海
線ト申シマスルガ、元山カラ釜山ノ方ニ向
ヒマス東海岸ノ線路デゴザイマス、是ハ昭
和十三年度迄ハ襄陽ト云フ所迄開通シテ居
リマスガ、襄陽カラ南ノ浦項ニ至リマスル三
百「キロ」近イ二百八九十「キロ」ノ所ガ只今
申シマシタ公債ヲ財源トスル建設工事トナ
ル次第デアリマシテ、昭和十四年度ニ於キ
マシテハ襄陽カラ江陵迄開通致シマス、昭
和十五年度ニ江陵、三陟ト云フ所ガアリマ
スガ、モウ少シ南ニナリマスガ、三陟迄昭
和十五年度ニ開通致シマシテ、三陟カラ浦
項迄ハ昭和十七年、同時ニ浦項カラ慶州迄
ノ狹軌ヲ廣軌ニ改良スルト云フ工事モソ

コニ入ッテ居リマス、ソレカラ上ノ方ニ參リ
マシテ、平壤ト元山トヲ結ブ平元鐵道デゴ
ザイマスガ、是ハ城內ト陽德ノ間約六十「キ
ロ」ノ間ガマダ工事ガ完成シテ居リマセス、
是ガ矢張り同ジ財源ヲ以テ施行サレマス建
設工事デアリマシテ、昭和十四年度ニ於テ
六百餘萬圓ヲ投ジ、十五年度ニ於テ全部ガ
完成スルト云フ豫定ニナッテ居リマス、ソレ
カラ滿浦線ト申シマシテ平壤カラズット右ニ
折レテ、鴨綠江ノ河畔ニ參ッテ居リマス線ガ
アリマスガ、此ノ鴨綠江ノ河畔迄ノ滿浦鎮
ト云フ所迄ハ此ノ二月開業致シマシタ、滿
鐵方面ハ四平街カラ輯安ヲ經テ滿浦鎮ノ
對岸迄土工ガ完成致シテ居リマシテ、本年
秋ニハ滿鐵ノ方モスツカリ出來上ル、本年秋
迄ニ朝鮮側ニ於テ工事ヲ引受ケマシタ鴨綠
江ノ橋梁ヲ完成シテ、本年秋ニハ四平街ト
朝鮮方面トノ連絡ガ完成スル、斯ウ云フコ
トニナリマス豫定デゴザイマス、ソレカラ
ズット北ノ方ヘ參リマシテ茂山ノ方ニ細イ線
ガアリマスルガ、此ノ細イ線ハ狹軌デゴザ
イマス、此ノ線ガ昭和十四年度ニ於テ榆坪
洞、延社間三十六「キロ」ガ開通致シマス、其
ノ後延社カラ茂山迄追々工事ヲ進メテ參リ
タイ、是ガ矢張り同ジ財源ヲ以テ施行サレ
マス建設工事デゴザイマス、建設工事ハ其

ノ外ニ極ク南ノ馬山ノ方ニ慶全線ト云フノ
ガアリマシテ、馬山、晋州間ハ朝鮮鐵道ノ京
南線ト云フモノヲ買収シテ國有鐵道デアリ
マスルガ、此ノ晋州カラ麗水ノ方ニ向ッテ順
天ヲ通ッテ全州ニ至ル線、ハ全州カラ順天
迄ハ出來テ居リマスガ、順天、晋州間ガマ
ダ完成致シテ居リマセヌ、是モ物資ノ供給ガ
ウマク参リマス限リ工事ヲ進メテ参リタイ
ト考ヘテ居リマスルガ、昭和四年度ニ於テ
ハ工事ハ一時中止スル豫定ニナッテ居リマ
ス、以上ガ建設工事ノ大體デアリマシテ、
改良工事ノ大キナモノニ付テ同ジク公債ヲ
財源トスル改良工事ノ大キナモノヲ申上ゲ
マスルト、一番南ノ釜山デ申シマスルト、釜
山ノ築港ニ伴フ釜山驛ノ改良ト云フモノガ
アリマス、是ハ現在ノ釜山驛ヲ廢止致シマ
シテ、今ノ草梁ノ邊ニ大キナ釜山ノ驛ヲ
造ッテ海陸連絡設備ヲ完成シヨウト云フコ
トニナッテ居リマス、是ハ昭和二十年度ニ完
成致シマス豫定デゴザイマス、釜山鎮、三
浪津間ノ複線工事ト云フノガアリマスルガ、
是ハ本年度内ニ完成スルコトニナッテ居リ
マシテ、或ハ一箇月位遅レルカト思ヒマス
ルガ、三浪津、釜山鎮、此ノ間ノ改良工事
ガ完成スルコトニナッテ居リマス、ソレカラ
ズツト上リマシテ「ジャンクシヨ」ニナッテ居

ル大田ト云フ所ガアリマスルガ、其處ト京
城ノ間ノ複線工事ガアルノデアリマス、是
モ本年度完成豫定ニナッテ居リマシテ、殘工
事ガ來年度ニ延ビマスルガ、大體昭和十三
年度ヲ以テ完成致シマスルノデ、今回ノ追
加致シマスル公債ヲ財源トシテノ工事デハ
ナイノデアリマス、ソレカラ京城附近ニ至
リマシテ、京城ト東京城ト云フ所ガ複線ヲ
敷設スルコトニナッテ居リマス、是ハ咸鏡
線、京元線、京城カラ元山ヲ經テ咸鏡北道
ニ至リマスル此ノ線ノ輸送數量ガ非常ニ殖
エテ参リマシタ結果トシテ中央線ガ京城ニ
入ッテ参リマス時ニ、中央線ノ列車ヲ收容ス
ルコトガ出來ナイ程ニ咸鏡線ノ輸送ガ輻湊
シテ参リマシタノデ、東京城ト京城間ニ複
線ヲ二箇年間デ完成シタイ、サウ云フ改良
工事ガゴザイマス、又同時ニ京城附近ニ於
テ相當大規模ノ停車場ヲ作ッテ、車輛ノ利用
上ノ便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、又
京城カラ平壤ニ至リマス區間ノ複線工事ガ、
昨年度カラ豫算ニ計上致シテ實行致シテ居
ルノデアリマスルガ、是ハ昭和十五年ヲ以
テ完成致シマス豫定デゴザイマス、ソレカ
ラ改良工事ノ主ナルモノト致シマシテハ、
京釜、京義ニ於ケル大キナ川ノ橋梁、鴨綠
江デアルトカ、清川江デアルトカ、大同江

デアルトカ、漢江デアルトカ、洛東江デア
ルトカ云フ所ノ橋梁ノ強度ヲ高メ、「エル」ノ
二十二ニ致シマスル橋梁ノ改修工事ガ、十
四、十五ニ箇年間位デ計畫サレテ、著々實行
サレテ居リマス、ソレカラ只今申上ゲマシ
タ京城カラ元山ヲ經テ咸鏡北地方ニ参リマス
京元、咸鏡線ト云フノガ、最近大陸トノ交
通ガ頻繁トナリマシタ結果、非常ニ輸送數
量ガ増加シテ参リマシタノデ、此ノ線ノ有
效長ヤラ勾配力、曲線ヤラヲ緩和致シマス
爲ニ、此ノ線ニ相當ノ改良費ヲ使ッテ、此ノ
線ハ今乙線デアリマスルガ、成ルベク甲線
ニ近イモノニスルコトニ致シマシテ、改良
工事ヲ實施中デアリマス、建設改良計畫ノ
大要ハ右申上ゲタ通りデゴザイマス
○政府委員(水田直昌君) 昭和十四年度以
降ノ既定法定額ガ、港灣千四百七十萬圓、金
山送電施設二千八百萬圓、此ノ仕事ノ内容ニ
付テ概略御説明ヲ申上ゲマス、港灣ニ付キ
マシテハ、現在港灣修築改良費ト云フ繼續
費ニ於キマシテ、或ハ仁川デアルトカ、或ハ
多獅島、城津、墨湖、釜山、麗水、清津、
可ナリ築港工事ヲ實施中デアリマスルガ、
其ノ中釜山ノ擴張工事ト麗水ノ擴張工事、
此ノ二ツハ昭和十一年ニ擴張工事トシテ追
加サレタノデアリマスルガ、是ハ朝鮮ノミ

ノ必要ト申シマスルヨリモ、時局ヲ考慮致
シマシテ、各般ノ方面カラ考慮シマシテ、
是非此ノ程度ノ擴張ハ必要デアルト云フノ
デ、釜山ニ付キマシテハ凡ソ千六百餘萬
圓、麗水ニ付キマシテハ六百餘萬圓、合計
二千二百餘萬圓ト云フノヲ追加ヲ致シマシ
テ、急速擴張ヲ實行シナケレバナラナイト
云フ狀況ニ相成ッタノデアリマス、此ノ千四
百七十萬圓ト申シマスルノハ、昭和十三年
度迄ニ工事ヲ済マシマシタ、其ノ殘部ニ付
テノ工事費ニ對スル所要財源ニ相成ッテ居
ルノデアリマス、釜山ノ擴張ト麗水ノ擴張
ニ對スル財源ト致シマシテ、昭和十四年度
以降是ダケ豫定致シテ居ルノデアリマス、
此ノ港灣ノ擴張ハ内容ガ色々ニ相成ッテ居
リマス、或ハ防波堤ノ築造ナリ、浚渫ナリ、
色々ニ相成ッテ居リマスルガ、是以上ノ内容
ノ計數的ノ詳シイコトニ付キマシテハ、種
種ノ關係上、遠慮サレテ戴キマス、次ニ金
山送電施設二千八百萬圓デアリマス、是ハ
昨年ノ議會ニ於キマシテ、朝鮮ニ於ケル產
金増產計畫ニ對スル經費ノ御協賛ヲ願ッ
中デ、産金ノ爲ニ必要トスル電力ノ送電設
備ト致シマシテ、總額三千六百萬圓ヲ以チ
マシテ、昭和十三年度以降三箇年間、十三
年度ガ八百萬圓、十四年度ガ千六百萬圓、

十五年度ガ千二百萬圓、總額三千六百萬圓ヲ以テマシテ、産金増産所要ノ目標ニ達スル爲ニ、必要トスル電力供給ノ送電ノ設備ヲ、此ノ經費ヲ以テ施行シヨウト云フノデアリマス、全鮮ノ金鑛賦存地帯ニ對シマシテ六萬六千「ボルト」及ビ二萬二千「ボルト」ノ主要幹線ヲ國デ以テ施設ヲ致シマシテ、更ニ業者ガ自ラ必要トスル支線ハ業者ノ負擔ニ於テ之ヲ敷設スルト云フコトニ致シマシテ、金鑛業開發ノ朝鮮ニ於キマシテハ何分山ノ方面ニ付キマシテハ現存ノ營利會社ヲ以テ致シマシテハ、山奥深く送電施設ヲシタ爲ニ或ハ、鑿岩機或ハ坑内ノ水ノ排除、其ノ他鑛山開發ノ爲ニハ電力ハ不可缺ノモノデアリマスルガ、之ニ供給スルト云フコトハ營利會社ノ力ヲ以テシテハ出來兼ネル實情ニアリマスノデ、國デ以テ總額二千六百萬圓ノ經費産金ノ爲ニ必要トスル電氣供給ノ送電施設ヲ國デ經營シヨウ、其ノ爲ニ經費ヲ計上サレテ居ルノデアリマス、既ニ昭和十三年度ニ於キマシテハ、公債財源ヲ以テ八百萬圓支辨致シテ居ルノデアリマス、ソレノ殘額ガ二千八百萬圓ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス

○男爵久保田敬一君 チョット鐵道ノ件デ伺ヒマスガ、釜山ト三浪津間複線工事ガア

リ、ソレカラ大田、京城間デ複線工事ノ計畫ガアリマスガ、三浪津、大田ノ間ハ只今單線ナンドスカ

○政府委員(工務省) 單線デゴザイマス、目下複線計畫ハアリマセヌ

○男爵久保田敬一君 サウシマスト、三浪津ト大田、京城、新義州間ハ京義鐵道ト云ヒマスガ、朝鮮ノ此ノ一番幹線ノ中デ以テ單線デアリ、且マダ複線計畫ハナイト云フコトニ承知シテ宜シイデスカ

○政府委員(工務省) 是ハ三浪津ト釜山鎮ノ間ヲ複線ニ致シマシタノハ、他日中央線ガ出來マシタ場合ニ釜山鎮カラ慶州ノ方ヲ廻ッテ永川ト云フ所カラ中央線ヲ通ッテ京城ニ至ル、此ノ場合ニ馬山ノ方カラ三浪津ヲ經テ釜山鎮ヲ經ル、サウ云フ廻リ道ヲシテ中央線ヲ經由シテ京城ニ行クト云フ場合ヲ豫想致シマシテ、本區間ヲ複線ニ計畫サレタ次第デアリマスルガ、其ノ他ハ中央線ノ東海線、釜山カラ釜山鎮ヲ經、慶州ヲ經テ榮川カラノ中央線ヲ通ッテ京城ニ行ク線ト、釜山カラ三浪津、大邱、大田ヲ通ッテ、ズット普通ノ旅客列車ガ通ッテ居リマス、京城ニ通リマス徑路、此ノ二ツノ徑路ガアツテ、大體普通ニ考ヘテ行キマスト、單線ニ線デ宜イノダト云フ考デアリマスルガ、唯

大田カラ京城ノ間デ木浦若シクハ麗水ノ方面カラノ列車ガ京城ヘ行ク場合ニ大田ヲ經由シテ、大田京城間ノ線路ヲ使ヒマスノデ、此ノ區間ハ複線デナケレバ木浦若シクハ麗水港カラノ列車ヲ收容スルコトガ出來スト云フ考デ、大田ト京城ノ間ヲ複線ニシタ、從ッテ大田ト三浪津ノ間ハ單線デソレカラ京城ニ參リマスルト、麗水、木浦カラノ線ガ一本、釜山カラノ線ガ一本、中央線經山ノ線ガ一本、三ツノ線ガ此處デ一緒ニナツテ其ノ三ツノ線ノ中、一本ハ元山ノ方面ニ行ク、殘リノ二本ハ從ッテ京城平壤間ハ二本ナケレバナラスト云フコトデ、京城ト平壤ノ間ガ複線計畫ガ立テラレテ居ル次第デアリマス、平壤カラ先ハドウナルカト申シマスルト、平壤カラ先ハ今ノ所滿浦線ヲ通ッテ四平街ニ行クノガ一本、平壤カラ安東方面ニ行クノガ一本ト云フコトデ、現在ノ所ハ京城ト平壤、京城ト大田、三浪津ト釜山鎮ト云フモノノ複線計畫ガ立テラレテ居ル次第デゴザイマス

○男爵久保田敬一君 先程ノ改良費ノ御話ノ時ニ慶州ト浦項ノ間ヲ狹軌ヲ廣軌ニ改築スル經費ガ計上サレテアルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、慶州カラ浦項ヘ行クノニ海岸線ノ方ニ對スル準備モアルト思ヒ

マスガ、此ノ海岸線ハ中央線ヨリ竣工期間ガ後ダラウト思ヒマス、慶州カラ永川ヘ行クノハ是ハ細イ線デ描イテアルカラ多分狹軌ダラウト思ヒマスガ、此ノ方ガ狹軌ガ先ニ改築サレル必要ガアルノデヤナイカト思ヒマスルガ

○政府委員(工務省) 先程申シ落シマシテ恐縮デゴザイマスガ、永川ト慶州ノ間ハ來月ノ三十一日ニ廣軌ニ改築サレテ竣工致スコトニナツテ居リマス

○男爵久保田敬一君 ソレカラ港灣ノコトデチヨット御伺ヒ致シタイノデスカ、此ノ公債支辨ニ依ル港灣ハ釜山ト麗水ダト云フ御話デゴザイマシタガ、只今朝鮮デ港灣ノ修築ヲヤッテオイデニナルノハ大キナモノヲ申シマス、此ノ仁川デアルトカ、清津、多獅島ト云フヤウナモノガアルト思フノデスカ、是ハ多分普通財源デ以テ支辨ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ公債ノ之トハ少々懸ケ離レテ居ルト思ヒマスガ、此ノ普通財源ノ支辨ニ依ル港灣ノ修築ノ極ク大體ノ御計畫ヲ承レナイデセウカ

○政府委員(水田直昌君) 現在港灣修築改良ト致シマシテ實施中ノモノハ只今御示ノヤウニ、仁川ノ第一「ドック」築造工事、咸鏡北道ニアリマスル城津ノ修築、主ナモノヲ申

上ガマス、御示ノ多獅島ノ修築、及江原道ニアリマスル墨湖、墨湖ノ防波堤ノ築造、釜山ノ擴張工事、麗水港ノ擴張工事、清津ノ西港ノ防波堤、只今御示ノ清津ノ築港、ソレニ今年更ニ端川ノ築港ト云フモノヲ今年カラ計上シテ居ルノデアリマス、只今御質疑ノ仁川ト多獅島ト清津ノ防波堤ノ築造ノ極ク概略ヲ御説明申上ゲマス、仁川ハ現在御承知ノヤウニ干満ノ差ガ甚シクアリマスルノデ、開門式ト云フノ港ノ設備ガ出來テ居ルノデアリマスルガ、北支トノ關係上最近貨客ノ積下シガ非常ニ激増致シマシテ、現在ノ設備ヲ以テハ到底之ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ爲ニ、現在アリマス「ドック」更ニ外ニモウ一ツ大キナ「ドック」ヲ増ヘマシテ、此ノ貨客ノ激増ニ應ズルコトニ致シテ居ルノデアリマス、其ノ完成ハ是ハ財源ノ關係上昭和十八年ト云フコトニ相成ッテ居リマス、多獅島ノ修築ニ付キマシテハ是ハ新義州ノ直グ南ニアリマス、新義州ガ結水致シマシテ、殆ド一年ノ半バ近クハ船舶ノ出入ニ非常ナル支障ガアリマスル關係上、北ノ方面ニ於ケル不凍港、而シテ清津方面及滿洲ノ方面、東邊道ノ貨物ノ吞吐ト云フヤウナコトモ考慮サレマシテ、總額千三百萬圓程度ヲ以チマシテ、約百萬「トン」ノ

荷役能力ノ出來ル程度ノ豫算ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、完成ハ矢張り昭和十八年度ニ全部完成スルト云フコトニ相成ッテ居リマスガ、勿論途中ニ於キマシテ一部ハ利用シ得ルコトニ相成ルノデアリマス、清津ノ西港防波堤築造、是ハ近ク六百八十萬圓ヲ以テ計上サレテ居ルノデアリマス、生産力ノ擴充ノ目的ヲ以チマシテ、茂山ノ咸鏡北道ニアリマスル茂山ノ鐵礦ヲ開發ノ計畫ガ樹テラレタノデゴザイマス、ソレニ伴ヒマシテ、此ノ清津ノ輪城平野ト云フノガアリマスガ、其處ニ日本製鐵ナリ或ハ三菱ナリガ工場ヲ建設致シマシテ、鐵ヲ増産スルト云フ計畫ガ樹テラレタノデアリマスガ、ソレニ應ズル港ト致シマシテ、總額六百八十萬圓ヲ以テ現在進行中ナノデアリマス、昭和十五年度ヲ以テ完成スルコトニナッテ居リマス

○男爵久保田敬一君 モウ一ツ伺ヒタイノハ電力問題デアリマスガ、朝鮮ハ今全體電力ハ六十「サイクル」ニナッテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此ノ六十「サイクル」ニ統一ナサツテ、五十「サイクル」ハ全然御入レニナラナイト云フ御考デゴザイマスカ

○政府委員(大野綠一郎君) 只今六十「サイクル」デ統一シテ居リマス

○男爵久保田敬一君 鴨綠江ニ今度非常ニ

大キナ發電所ガ出來マシテ、六十萬「キロ」ト云フヤウナ大キナ出力ガアルサウデアリマスガ、是ハ滿洲方面ハ五十「サイクル」デ以テ配電スル、朝鮮ニ入ル爲ニ態々六十「サイクル」ノ送電ヲシナケレバナラスト云フ非常ニ不經濟ノ計畫ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ不經濟ノコトヲ救済スル爲ニ、鴨綠江水力ノ送電ヲ受ケル所ダケデモ、五十「サイクル」ヲ許スト云フコトニナサツタ方ガ、非常ニ經濟上良クハナイカト云フヤウナ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(大野綠一郎君) 滿洲トノ關係カラ申シマス、同ジ「サイクル」デアルコトガ願ハシイコトデアリマシテ、朝鮮ガ最初六十「サイクル」デヤツテ居リマシタ場合ニ、滿洲ニ於テ五十「サイクル」デ定メテ居リマシテ、ソレガ今日滿洲ノ方ハ五十「サイクル」、コチラノ方モ同ジヤウニ、滿洲ノヤウニ致シマス、所謂送電ノ關係ニ於テ有無相通ズルコトガ非常ニ困難デアリマスカラ、コッチハドウシテモ六十「サイクル」デナケレバナラスト云フヤウナ譯デ、御示ソヤウニ非常ニ不利ナコトニナルノデアリマスケレドモ、是ハドウモ非常ニ我々ト致シマシテモ困ッテ居リマス、既ニ朝鮮ニ於

テハ非常ニ電力ガ開發ヲシテ居リマシテ、是ガ何レモ六十「サイクル」デヤツテ居リマス、今日朝鮮ニ於テ變ヘルト云フコトハ、ナカク困難デハナイカト考ヘテ居リマス

○男爵久保田敬一君 モウ一ツ伺ヒマス、多獅島ニ不凍港ヲ造ルト云フ御話デアリマシタガ、滿洲方面デ安東ノ附近ノ沙子崗ニ非常ニ大キナ工業都市ヲ作リマシテ、此處ニ矢張り埠頭ヲ設ケテ、築港ヲヤラウト云フヤウナ計畫ガアル、是ハ現ニ不凍港ダト稱シテ居ルサウデアリマスガ、此ノ多獅島ト沙子崗トノ關係デ、江ヲ隔テコッチガ朝鮮デ向フガ滿洲デアル爲ニ、二ツ大キナ港ヲ作ラナケレバナラスト云フノハ、非常ナ不經濟ナコトト思フノデアリマスガ、此ノ二ツノ港ガ兩立シテ行クモノデアルカ、又滿洲方面ノ物産モ多獅島ノ方ニ主ニ流レルト云フヤウナ御考デアリマセウカ、此ノ點ヲ一ツ……

○政府委員(大野綠一郎君) 今ノ安東方面ニ於ケル築港ノ問題ト多獅島ノ關係ニ付キマシテハ、我々トシテモ非常ニ考ヘテ居リマシテ、先ヅ私共ノ考デハ多獅島ノ錨地ト云フモノハ長イ間ノ調査ニ依リマシテ、アスコ迄ハ流水ガ來ナイト云フ統計上ト申シマスカ、歴史上ト申シマスカ、強イ調ヲ持ッ

テ居ル譯デアリマス、安東ニ付キマシテハ滿洲國側ニ於テ色々調ベテハ居ルヤウデスガ、隨分工事ノ困難等モアルヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、併シ今ノヤウニ電力ノ開發ニ伴フ程度ノ荷役ノ設備等ガ必要デアル、斯様ナコトカラ港ノ問題ガ起ツタヤウデアリス、ソコ御示ノヤウニ僅カ、眼ノ前ニ御互ニ居リナガラ、何カ競争メイタヤウナ結果ニナルコトハ、甚ダ思ハシクナイノデアリマシテ、雙方成ルベク協議ヲ致シマシテ、サウシテ無駄ナコトノナイヤウニ、先ヅ朝鮮トシテハ或ハ保稅上ノ關係デアリマストカ、或ハ工業地ノ關係デアリマストカ、斯様ナ點ニ付テハ有ラユル便宜ヲ供與スル積リデ、又折角多獅島ノ築港ヲスル以上ハ、其ノ港ガ完全ニ利用セラレルコトヲ希望致シマシテ、滿洲國ノ官憲トモ能ク連絡ヲ致シテ居リマス、又左様ニ連絡ヲシテ無駄ノナイヤウニ致サネバナラスト考ヘテ居リマシテ、左様ナ委員會等モ拵ヘテ居リマス、サウ云フ意味デ進シテ行キタイト思ッテ居リ致マス

○男爵久保田敬一君 只今ノ御説明デ大體了解シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○男爵福原俊九君 丁度今鐵道計畫ノ御話

デシタノデ、ソレニ關聯シテ御尋ネシタガ便利ダト思ヒマスカラ、ソレダケチヨット御尋ネシマス、今複線計畫ヲズット拜見シテ見ルト云フト、平壤カラ京城迄ハ複線デア、サウスルト滿浦鎮ノ方面ノ荷物ハ仁川ニ御出シニナル御方針デアリマスカ、仁川ノ港ヲ大キクシタラ相當ニ荷役ガ出來ルト思ヒマスカ、處デ、此ノ黃海道ノ海州ヲ見マスト、丁度複線ノヤウナ形デ平壤迄、沙里院迄ハ少シ廻リマスケレドモ、餘リ遠クナイ、今ノ狹軌鐵道ガ來テ居リマスカ、海州ノ港ハ非常ニ深クテ良イ港デアリマスカ、滿浦鎮カラ直グ海州ヘ眞直グニ出スガ、宜ササウニ地理上ハ見エマスカ、矢張り國防關係カラ行クト滿浦鎮ノ對岸、此ノ邊ハ矢張り現在ノ狀態ハ能ク知りマセスケレドモ、日ソ關係デハ國防上重要ナ點ダカラ、仁川、釜山カラ廻シテヤルヨリモ、海州ヘ持ッテ行ッテ、船ヲ送ッテ、サウシテ滿浦鎮ニ出ス方ガ宜イヤウニ思ヒマスカ、其ノ邊ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ、殊ニ土城カラ白川ニ行ク所ニ橋ガアリマスカ、是ハモウ廣軌ニ出來ルヤウニ橋ガ出來テ居ルノデ、將來私設鐵道ノ買收ト云フ點カラ行クト、當然是ハ買收サレテ宜イ線トナルノデヤナイカト思ヒマスカ、ソレカラモウ一ツ、海州

附近ハ相當工業モ將來起リ、原料モ色々アリマスカラ產業線ニモナルノデスカ、ドウセハ將來此ノ線ダケハ廣軌ニ改築セネバナルマイト思フ、ソレカラモウ一ツハ羅津ト清津ノ間ハ、是ハナカ／＼厄介ナ所デ、鐵道ヲ連絡スルノニ金ガ掛カルガ、將來ヲ考ヘルト、何トカシテ繋ゲスト非常ニ困リヤセスカト云フヤウナ感ジヲ持チマスカ、是ハ金ガ掛カルカラ逆モ繋ゲナイ、ソレニ對シテハ海ノ連絡ヲドウサレルカ、其ノ邊ニ對スル當局ノ御意見ヲ承リタイ、ソレカラモウ一ツハ鐵道ノ直接關係デアリマセスケレドモ、清津カラ羅津迄ノ鐵道ハ滿鐵デヤッテ居ル、其ノ清津ノ鐵道ト、港灣ノ、總督府デヤッテ居ル港灣行政ト鐵道トノ關係ガドウ云フ風ニナッテ居ルカ、簡單ニ一ツ伺ッテ置キタイ

○政府委員(大野綠一君) 先ヅ最初ノ黃海線ノ問題デアリマスカ、御話ノヤウニ、海州港ノ重要性、是ハ產業的ニモ亦國防ノ上カラ云ッテモ可ナリ重要デアリマス、實ハ當局トシテモ率直ニ申上ゲマスト、サウ云フコトヲ考ヘタコトガアリマス、諸種ノ關係上カラ致シマシテ、昨年平讓ト京城トノ間ヲ複線ト云フコトニ決マリマシタノデ、是ハ矢張り將來ノ問題トシテ考ヘルヨリ致

方ナイト考ヘテ居リマス、併シ我々トシテモ其ノ必要性ヲ大イニ認メテ居ル譯デアリマス、ソレカラ清羅線、是モ非常ニ必要性ヲ認メテ居リマシテ、具體的計畫ヲ樹テマシタガ、マダ今日提案ヲ致シテ御協賛ヲ仰グ迄ニナッテ居リマセス、併シ我々トシテモ何トカ考ヘタイト思ッテ居リマス、ソレカラ羅津、清津ニ於ケル港ノ方ハ滿鐵ノ方ガヤッテ居リマスカ、併シ此ノ問題ハ結局滿鐵ニ委任シテ居ル鐵道ヲ今日ノ情勢ニ應ジテ如何ニ致スベキカト云フ根本ノ問題ニナリマスコデ、是モ當時委任ヲ致シマシタ情勢ニ較ベマスト、今日北鮮ニ於ケル產業ノ情勢ガ可ナリ變ッテ居リマスカ、ソレニ併セマシテ委任鐵道ノ問題ヲ考ヘナケレバナラスト思ッテ居リマス、寄々關係ノ當局ニ於テ相談ヲ致シテ居リマス、ソレニ依ッテ自然問題ガ解決スルコトニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○男爵福原俊九君 サウシマスルト今申シマシタ滿浦鎮ノ方面カラ來ル貨物ハ皆釜山迄持ッテオイデニナリマスカ、矢張り仁川ニ出ス譯ナノデアリマスカ

○政府委員(大野綠一君) 別ニ何處ニト云フアレモアリマセスノデスカ、マア一番近い港ト云フコトニナリマスレバ自然鎮南

浦モアリマスシ、又仁川モアリマスシ、或ハ又釜山ト云フモノモアリマス、何處ト云ッテ斯ウ具體的ニチヨット今考ヘテ居リマセヌ

○男爵福原俊九君 ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、此ノ東海線ト、ソレカラ中央線トノ間ノ連絡、是ハ隨分此處ハ勾配ガ急ナシカカラナカ／＼ムツカシイノデスガ、是ハ矢張り途中デ墨湖カラ道溪迄計畫線カ何カアルヤウデスガ、是ハ矢張り將來私設鐵道ヲ買收シテ是ハ御繋ギニナル計畫デモアルノデスカ、是ハ此ノ儘ニシテ置クノデアリマスカ

○政府委員(大野綠一 郎君) 御示シノハ、墨湖カラ道溪迄ノ線デスカ

○男爵福原俊九君 墨湖カラ此ノ東海線ト中央線竝ニ今現在ノ京釜線ヲ横ニ繋グ線デスネ、是ハ大體御計畫ニナル譯デスカ、モウソレ迄ハ必要ナイノデスカ

○政府委員(大野綠一 郎君) マアソレハ其ノ行ク／＼ハ必ズサウ云フ線ハ要ラダラウト思ッテ居リマスガ、マダ具體的ノ計畫ト迄ハナッテ居リマセヌ

○男爵大藏公望君 此ノ買收ノコトニ付テ伺ッテモ見タイト思ヒマス、此ノ前此ノ委員會デハアリマセヌガ、豫算委員會デスカ、

分科會デアリマシタカ、大體朝鮮ノ私設鐵道ハ全部買收スルト云フヤウナ御言明ガ度度アツタノデアリマスガ、本年ハドウ云フ御關係カ、タツタ一ツ出マシタガ、一方ニ五箇年間補助ノ延長ヲ致シマス、又五年先ヲ考ヘナケレバナラス、承ルト確カ前ノ御說明デハ全部買收スルノニ約七八千萬圓位ト云フ風ニ伺ッタヤウニ記憶シマスルガ、七八千萬圓位ノコトナラ此ノ五年間ニ御買ヒニナッタ如何デアリマスカ、五年ニ分ケマスト僅カニ年ニ一千何百萬圓、大シタ事デハナイト思ヒマス、ドウセ一方ニハ先程御說明ニ依ルト、六百萬圓、七百萬圓ノ補助ヲ出スノデアリマスカラ、斯ウ云フ御話ガアリマスナラバ度々御言明ニナッタヤウニ此ノ際五年間ヲ期シテ御買上ニナッタ方ガ、朝鮮全體ノ鐵道經營ノ上カラ宜イノデハナイデスカ、此ノ上ニ造ルト云フコトハ餘程考ヘ物デ、自動車道路ノ發達ニ伴ッテ必要ナイデセウガ、現在アルモノダケハ矢張り前ノ御考ノヤウニナサッタ如何カト云フ考ヲ有ツノデスガ、サウ云フ御計畫デモアリマセウカ

○政府委員(大野綠一 郎君) 御示ノヤウニ之ヲ纏メテ全部買ッテシマフト云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、何分財政當局ト協議致シマシテ、全般ノ關係カラ今度ノ如ク僅カニ一ツノ鐵道ヲ買收スルニ止ッタノデアリマス、今後然ラバ纏メテ之ヲ買フコトニシテ、一定ノ包括的ノ計畫ヲ立テルカ、斯ウ申シマスト是ハ矢張り財政當局ト十分打合セヲ致シマシテカラデナイト、直チニ此處デ全部ヤルトモ申兼ネルト思ッテ居リマス、實ヲ申セバ今日ノヤウナ公債ノ情勢デナイ場合デアリマス、其ノ點ハ非常ニ容易イト思ッテ居リマス、全般ノ起債市場ノ關係等デ色々考慮ヲ致ス結果、今日ノヤウナ情勢ニナッテ居リマス、我々ト致シマシテハソレニ付テ努力スルコトニ於キマシテハ何等異存ハナイ譯デゴザイマス、此處デ直チニ何年ノ中ニ買ッテシマフト云フコトハ、チヨット申上ガ兼ネルノデアリマス

○男爵大藏公望君 私共ノ希望トシテ申上タルノデスガ、度々此處デ……此處デハナイ、他ノ機會ニ御言明ニナッテ、買收スルト云フ風ナ御肚ヲ御示ニナッタノデアリマシテ、ソレモマア大キナ額ナラ致シ方ナイデスガ、モウ年ニ、千五百萬圓ト云フ、ホンノ今ノ公債市場カラ見レバ實ニ僅カバカリノモノデアアル、朝鮮總督府ガ其ノ肚ヲ御決メニナッタ出來ナイコトハナイダラウト云フ風ニ私共考ヘル、結局ナサライノハマア御熱心ガ足ラスノデハナイカト云フ風ナ氣モスルノデ、ドウセマア何百萬圓カ補助ヌルモノナラバ、御買ニナッタ宜カラウト云フ私共ノ希望ヲ申上タルノデ、是非サウ云フ風ニ、從來ノ御言明ヲ御實行ニナルヤウニ御努力願ヒタイ

○政府委員(大野綠一 郎君) 十分……

○男爵福原俊九君 今ノニ聯關シテ伺ヒタイ、國防ニ關係シタコトデアリマスカラ速記ヲ止メテ貰ヒタイ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記中止……

午前十一時二十八分速記中止

午前十一時四十三分速記開始

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ……

○男爵福原俊九君 先達テ御頼ミシマシタ參考書ノ營業成績表、此ノ益金ノ資本ニ對スル割合ガドウ云フ風ニナッテ居ルカ、チヨット是デハ分リマセヌカラ、若シ御分リナラソレヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ新興鐵道株式會社松興線ト云フ此ノ益金ノ所ヲ見テ行クト昭和八年、九年、十年迄ハ益金ガアツテ、十一年、十二年ハ損失ニナッテ居リマス、是ハドウ云フ譯デスカ、アノ赴戰湖ノ工事ガナクナッタカラ、完成シテシマッタカラシテ、モウ殆下是ハ鐵道トシテ益金ハ出ナイ

コトニナリマスカ、此ノ理由ヲ承リタイ

○政府委員(工藤義男君) 私其ノ事情ガ分
ラナイノデアリマスガ、運輸收入ガ殖エテ
居リマスノデ、水電工事ガ完成シタ爲ニ輸
送貨物ガ減ッテ赤ガ出タノデナイカ、營業費
ノ膨脹ニ因ルモノデアルカ、如何ナル理由
デ營業費ガ膨脹シテ赤ニナリマシタカチ
ヨット分リ兼ネマス、調べマシテ申上ゲマス
○委員長(伯爵堀田正恒君) 如何デスカ、
今日ハ此ノ程度デ……ソレデハ今日ハ是デ
散會致シマス

午前十一時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵大藏 公望君
委員

侯爵池田 宣政君
侯爵大炊御門經輝君
子爵秋元 春朝君
子爵保科 正昭君
男爵福原 俊丸君
男爵久保田敬一君
今井田清徳君
丸山 鶴吉君
今井 五介君
松本勝太郎君

政府委員

風間八左衛門君

拓務政務次官 寺田 市正君
拓務省管理局長 副島 勝君
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君
朝鮮總督府鐵道局長 工藤 義男君